

東京都立八王子桑志高等学校 令和6年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	国語	科目：	言語文化	単位数：	2	指導学年：	1
使用教科書	精選 言語文化（第一学習社）	副教材	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） これからの古典文法 改訂版（尚文出版）				

年間指導目標：

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考え言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化としての自覚をもち、

	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
評価規準	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数
1 学期	中間 考査	古文の学習 我が国の言語文化について理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 説話『児のそら寝』 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。	(知)	・言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解している。 ・古典を読むために必要な文語の決まりや古典特有の表現・時間の経過などによる言葉の変化につ	○	○	○	○		12
			(思)	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を理解している。 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話	○	○		○		
			(態)	・これからの学習に見通しを持って、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろ		○	○	○	○	

1 学 期	期 末 考 査	小説『羅生門』 下人の行動や心理を基に場 面の展開を捉え、老婆の語 る論理が下人の決断に与え た影響を読み取る。	(知) ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、その文 化的背景を理解している。 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語 句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊か にしている。	○	○	○	○		12
		説話『なよ竹のかぐや姫』 古典特有の世界観に慣れる とともに、千年以上前に作 られた物語が現代まで継承 されていることを知る。	(思) ・作品の成立した背景やほかの作品などとの関係 を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や 展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方	○	○		○		
		(態) ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内 容や展開を捉えようとしている。 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に 沿って伝奇性や心情描写の特色を促そうとしてい			○	○	○	○	
2 学 期	中 間 考 査	歌物語『伊勢物語』芥川 話の中で和歌が果たしてい る役割をおさえ、歌物語の 特徴と読み解き方を理解す る。	(知) ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的 な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き 語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語の決まりや古典特	○	○	○	○		16
		随筆『枕草子』中納言参り たまひて 自由に記述された随筆を読 んで、当時の人々の生活感 覚や興味の対象を知り、も のの見方・考え方を理解す る。	(思) ・歌物語・随筆という文章の種類を踏まえて、内 容や展開を的確に捉え、作品の表れているもの の見方や考え方を捉え、内容を解釈している。	○	○		○		
		(態) ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和 歌の果たす意味を捉えようとしている。 ・学習の見通しを持って随筆の様々な文体や取り 上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようと				○	○	○	
2 学 期	期 末 考 査	小説『夢十夜』 「夢」という非日常性を 持った世界において、「自 分」は何を判断の根拠とし ているかを読み解く。	(知) ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、 その文化的背景を理解している。 ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的 な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き	○	○	○	○		16
		随筆『徒然草』丹波に出雲 といふ所あり 『枕草子』とは異なる思索 的な随筆を読んで、作者の 批判的精神が提示する事柄 を具体的に読み解く。	(思) ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何 を判断の根拠としているかを読み解いている。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、 作品の表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈してい る。	○	○		○		
		(態) ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内 容や展開を捉えようとしている。 ・本文中に現れた作者の批評・教訓・感動などを 積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとし				○	○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	漢文の学習 我が国の言語文化への理解を深 めるために、古典としての漢文 を読むことの意義を知る。	(知) ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、 その文化的背景を理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国 の文化との関係について理解している。	○	○	○			22
		戦国策『狐借虎威』 文章の種類を踏まえてたとえ話 を読み解き、内容や展開を的確 に捉える。	(思) ・現在と過去とが交錯する文章展開を把握し、各 場面における登場人物たちの思いを読み取ってい る。 ・我が国の言語文化について理解を深めるため	○	○				
		小説『空き缶』 現在と過去とが交錯する文章展 開を把握し、各場面における登 場人物たちの思いを読み取る。	(態) ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内 容や展開を捉えようとしている。 ・これからの学習に見通しを持って、我が国の言 語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を				○	○	
合計									78